

横浜の橋梁 (日本最古の溶接鉄道桁・トレスル水管橋)

日本大学 理工学部 交通システム工学科
谷口 望

安価で確実な鋼橋の長寿命化対策関するに共同研究グループ

2022年11月21日～11月22日 横浜橋梁調査の報告

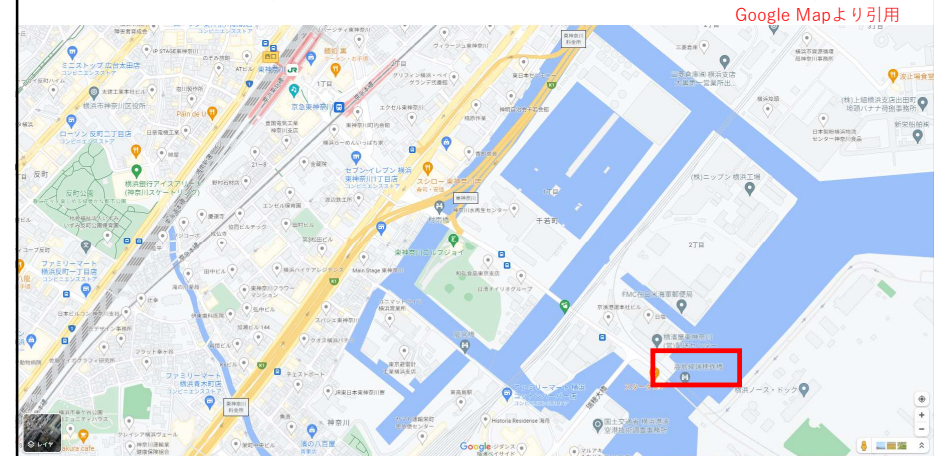
- ①日本最古の溶接鉄道桁（瑞穂橋梁）
- ②トレスル水管橋（横浜市水道橋）
- ③そのほか

①日本最古の溶接鉄道桁（瑞穂橋梁）

1934年製



橋梁所在地（横浜市東神奈川駅より徒歩圏内）





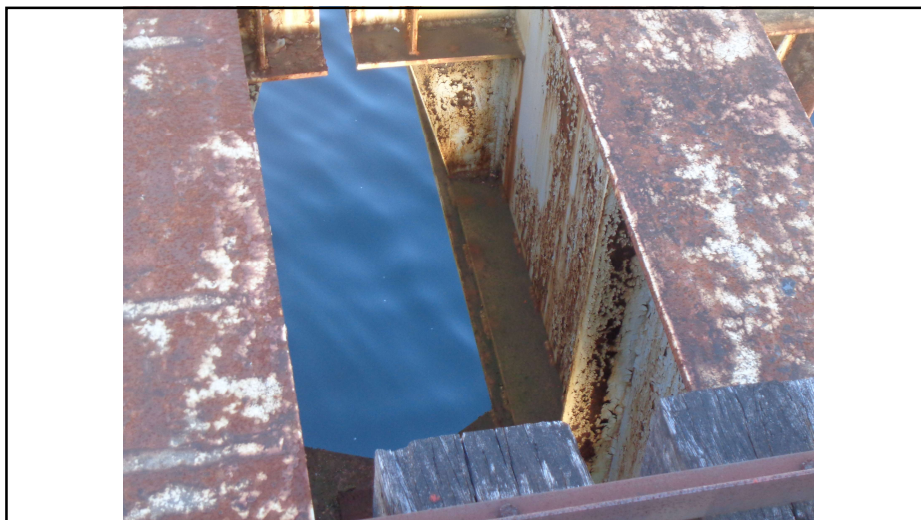
横浜ノース・ドック

瑞穂埠頭は外国貿易埠頭として、1925年（大正14年）に着工し1945年（昭和20年）に完成したが、終戦後には連合国の駐留軍に接収され、1952年（昭和27年）の講和条約発効以降は、日本からの提供敷地として、**在日米軍が使用している**。

2021年3月31日、使用されていなかった**鉄道用のレール**や周辺の土地など、約1,400 m²が**返還された**。

Wikipedia「横浜ノース・ドック」より引用









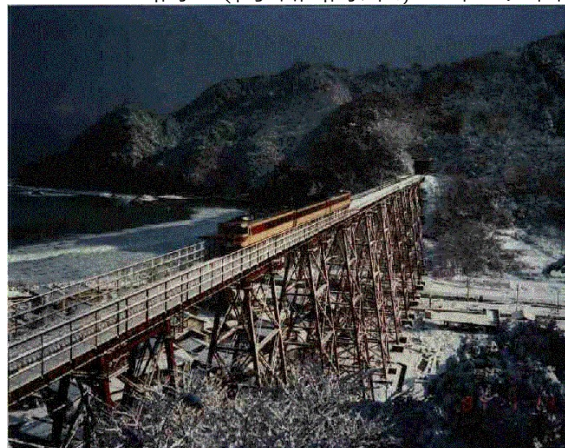
トレスル水管橋（横浜市水道局）

1952年製
大貫谷戸水路橋
414m

※他に2橋あり



トレスル橋（餘部橋梁，架け替え済）



鉄道総研所蔵写真

トレスル橋（東京都青梅線奥沢橋梁）



供用中

トレスル橋（熊本県立野橋梁）



災害運休中

トレスル橋（青森・岩手県青岩橋（せいがんばし））



通行止め





③そのほか（相模鉄道 環状4号架道橋）



③そのほか（相模鉄道 和泉川橋梁）

耐候性鋼材を
用いた合成桁



おわり